

普及現地情報



発信年月日：令和3年(2021年)6月17日
所属名：湖北農産普及課
番号：G21006
部門分類：170(花き)
発信者名：兼房、北村、松浦

小菊の個別栽培ほ場巡回を実施

JA レーク伊吹と JA 北びわこ両管内の花き部会員の小菊栽培ほ場（JA レーク伊吹管内：栽培者 31 名、JA 北びわこ管内：栽培者 27 名）を 6/8（火）～6/11（金）にかけて現地巡回しました。コロナ禍以前は部会員と一緒に全ほ場を巡回してきましたが、昨年に続き今年も感染拡大防止のため JA 担当者と普及指導員が各生産者のほ場を個別に巡回し、助言や指導を行いました。

湖北地域では、お盆やお彼岸向け小菊の定植が終わり、JA 北びわこ管内では既に 6 月咲き品種の出荷が始まっていて、出荷本数は例年並みの状況です。

現地巡回では、市場や直売所への出荷に向けて、品種ごとに生育状況や病害虫の発生等を確認しました。併せて、『小ギク情報紙』を配布し、開花時期に応じた栽培管理を説明しました。

今年は梅雨入りが早く湿害を危惧していましたが、適切に排水対策が行われ、大きな影響は出ていません。また、病害虫の発生は少ないものの、一部に黒斑病やアブラムシ、グンバイムシ、キクスイカミキリが散見され、防除するよう助言しました。

これから梅雨後半の大雨や梅雨明け後の高温が心配されます。適切な情報提供を行い、確実な収穫と出荷につながるよう活動します。



栽培ほ場で生産者と情報交換（2021. 6. 8）